

第28回

うつのみやこども賞だより

平成23年度 第5回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『スーパーキッズ』

佐藤まどか／作 （講談社）

～読んだ本の感想より～



- 音楽ひとすじで生きていくという姿に感動しました。
- 世界のスーパーキッズたちが犯人に立ち向かっていくところがおもしろかった。
- いろんな国の人々が協力して行ってリョウとのきずなも深まってよかったです。
- いろいろな特技のある登場人物ができて、おもしろかったです。
- 良達のスーパーキッズが力を合わせて仲間を助けるところが良かった。
- 良たちの友情やチームワークにとっても感動してあふれる涙でとまりませんでした。子どもだけで患者5人をたおしたなんてすごいなあと思い、題名のとおり「スーパーキッズ」だなと思いました。

『秘密のゴンズイクラブ』 広瀬寿子／作 （国土社）

- ゴンを守るために、いろいろな作戦にチャレンジしていたところがワクワクしました。
- 私もゴンズイクラブに入りたいと思うくらいおもしろかったです。
- 25年前と、現在を行き来できるなんて、すごいと思った。火の玉をかいちゅう電灯でつくるという発想がおもしろい。
- きりの日にタイムスリップできる設定がおもしろかった。
- キツネ、小ブネが、25年前のお父さんや宮野さんだったことが不思議でおもしろかったです。

『マゾ森の夏休み』 川淵圭一／作 （汐文社）

- 前までいじめられっ子だったけど、おじさんの手紙ではげまされ、ゆうきがついてよかったです。
- おじさんが贈ってくれた言葉にとても勇気をもらいました。
- マゾ森があきす事件で心がちょっといれかわるところがよかったです。
- 森くんとガーコと朝のおじさんの活やくは、たとえ学校でひろまらなくてもすごいと思いました。森くんが、空き巣の犯人を追っている時がハラハラドキドキしました。
- 主人公に最後目標ができて良かったなと思いました。

『ロップのふしぎな髪かざり』 新藤悦子／作 （講談社）

- ロップが人にとりつく？みたいなのができるのがすご～い。
- ロップと船長とアーシュクが再開したところが感動的でとても良かったです。
- バハルのお母さんが見つかって良かった。劇をしていたときに船長がセリフを忘れた所がおもしろかったし、アケロオスロ川が分かったときは、ドキッとして安心しました。
- ロップが「あたしのこと、見えないの？」と聞いた所で、ロップの悲しさが伝わってきました。
- 私も、いろいろな人間のたましいをわけてもらいたいと思った。